

社会の厳しさと温かさに触れた3日間の職場体験学習

—豊橋市立豊岡中学校—

1 学校及び地域の概要

本校は豊橋市の東部に位置し、新興住宅地としてひらけてきた地域にある。現在は1学年6学級程度の規模であるが、この50年の間に人口が膨らみ、二度、新設校と分かれた経緯をもつ。外国人籍の生徒も多く、その大部分はブラジル人である。現在では多種多様な店が立ち並び、人の行き来がたいへん盛んである。保護者の多くは会社員が多い。

2 活動の紹介

(1)実施日 平成20年11月11日(火)～13日(木)の3日間

(2)参加生徒数 第2学年 199名(在籍206名・欠席7名)

(3)受入先事業所数及び活動人数〔全103事業所〕

- | | |
|--------------------------|-------------|
| ①商業(飲食、販売、金融等) | 〔55事業所、88人〕 |
| ②サービス(理美容、貸館、宿泊、文化スポーツ等) | 〔14事業所、29人〕 |
| ③工業、建設(製造業、建築、土木等) | 〔2事業所、2人〕 |
| ④農林水産業 | 〔1事業所、1人〕 |
| ⑤公立施設(市役所等) | 〔9事業所、21人〕 |
| ⑥民間の病院、教育、保育、福祉 | 〔17事業所、43人〕 |
| ⑦その他 | 〔5事業所、15人〕 |

(4)活動日程と概要

<事前学習>

5月・体験学習全体の流れの把握

(学年集会で職場体験活動を含む職業学習について流れをつかむ。)

・職業学習〈1〉「職業調べ」

(興味のある仕事について、図書やCPを参考に調べる)

6月・職場訪問【6月4日(水)5日(木)】

(保護者の仕事を先を中心として身近な人の職場を訪問し、インタビューや体験をするとともにまとめの発表会をする)

・職場体験希望調査

(興味や関心のある職業や職場について希望をとる)

・職業学習〈2〉

(自分が体験する職種について仕事内容や資格等について学習を深める。)

7月・職場体験先へ受け入れ依頼

(職員が生徒の希望を集約し、希望事業所に電話をし、職場体験先を決める。)

8月・事業所との打ち合わせ

(職員が事業所へ行き、あいさつと職場体験活動の事前打ち合わせを行う。)

9月・職業学習〈3〉仕事をする上での心構え、社会のマナーについて

(ロールプレイなどを通して、職場でのマナーや仕事をする上での心構えについて学ぶ)

1 0月・事業所事前訪問

(生徒が直接事業所へ行き、自己紹介カードを提出するとともに、当日の活動時間・仕事の内容・持ち物等について打ち合わせるとともに、その職業に関するインタビュー活動を行う。)

・職場体験活動オリエンテーション

(学年集会で、緊急時の対応の確認や体験学習に対する抱負を発表する。)

<職場体験活動>

1 1月 11日 (火) 1 2日 (水) 1 3日 (木)

<事後学習>

1 1月・礼状送付

(職員、生徒それぞれの立場からお礼の手紙を送る。)

1 2月・職場体験発表会

(職場体験活動を各自がポスターにまとめ、学年全員でポスターセッションを行う)

(5)参考となる取り組み

- ・6月に保護者の職場を訪問することで、親や身近な人の真剣に働く姿に触れ、職業観について考えを深めることができた。
- ・事業所へのアンケートを行い、生徒の活動の様子を知らせていただいた。
- ・学年全員で、職場体験活動発表会をポスターセッションの形式で行い、生徒個々が自分の活動の取り組みをしっかりと発表することができた。

3 成果と課題

(1)成果

- ・3日間の体験活動以外に、訪問活動を事前に行ったことで、体験時にしっかりした目的意識を持って取り組むことができた。
- ・より長い体験期間で、仕事の大変さ、苦労とともに、やりきった充実感ややりがいを感じた生徒が多かった。
- ・実際に自分が働くことにより、働くことそのものの意義や働く人、とりわけ保護者への感謝の気持ちをあらわす生徒が大勢いた。
- ・事業所選びはたいへんであったが、生徒の活動の様子や学んだこと等を考えると、今後も3日以上での体験期間がのぞましいと思われる。



(2)課題

- ・生徒の希望が尊重されるように職場を探すことは大変であった。また、事業所によっては体験活動を受け入れてくれたものの、かなり負担を感じていた事業所もあった。
- ・3日間で行うと、どうしても定休日と重なったり、相手の事情で全日程の活動がかなわなかったりすることもある。しかし、それを含めても期間を増やした意義はあった。
- ・キャリア教育として、1年次から段階的・系統的な事前学習を行うことが必要である。特に生徒が1人1人のニーズに対応できるように、様々な学習と情報を得て、自分にあった職場選びができるようにしていく必要がある。学年だけでなく学校全体としての系統的な指導(活動)計画の推進を図っていきたい。

めざせ働きマン ～ 地域の人に学ぶ 働く喜びと人生の歩き方 ～

— 岡崎市立甲山中学校 —

1 学校及び地域の概要

本校は岡崎市の中心やや東部に位置し、古くは東海道の宿場町として、また明治以後には行政、商業、交通の中心地として早くから発展した地域である。学区内に市役所や消防署など市政の中核を擁し、また、郷土の偉人、徳川家康公にまつわる名所旧跡も多い。縦横に走る幹線道路沿いには創業 300 年を超える老舗から新興のショッピングセンターまで、さまざまな商店が立ち並び、往時のにぎわいをしのばせる。

平成 20 年 4 月現在の学校規模は学級数 23（特別支援学級 2、院内学級 1 を含む）、生徒数 756 で、市内 19 校中 6 番目の規模である。

2 活動の紹介

(1) 実施日

平成 20 年 6 月 10 日（火）～6 月 12 日（木）までの 3 日間

(2) 参加生徒数 第 2 学年 253 名

(3) 受入先事業所数及び活動人数

事業の種類	事業所数	活動人数	事業の種類	事業所数	活動人数
農 業	0	0	金融・保険業	0	0
林 業	0	0	不動産業	0	0
漁 業	0	0	飲食店、宿泊業	15	39
鉱 業	0	0	医療、福祉	7	16
建設業	0	0	教育、学習支援業	11	47
製造業	0	0	複合サービス事業	0	0
光熱水事業	0	0	その他サービス業	12	30
情報通信業	0	0	公務	3	8
運輸業	1	2	分類不能の産業	1	9
卸売・小売業	38	102	計	88	253

(4) 活動目標と概要

- 4 月 23 日（水） 職場体験学習に向けての意欲付け、希望職場の選択を行う。
- 4 月 30 日（水） 講師を招いてのマナー講習会を開催する。
- 5 月 7 日（水） 希望する職場に電話してアポイントメントをとる。
- 5 月 12 日（月） 体験する職場ごとに班編成をし、打ち合わせを行う。
- 5 月 14 日（水） 体験する職場を訪問し、正式な依頼と打ち合わせを行う。
- 5 月 22 日（木） 体験学習のための心構えなどの講習会を行う。

- 6月 5日(木) 学年集会を利用して体験学習への意欲を高める。
- 6月 10日(火) 職場体験学習を実施する。
↓
- 6月 12日(木)
- 6月 15日(月) ワークシートを使って体験学習のまとめをする。
- 6月 18日(水) 各事業所にお礼の手紙を書く。
- 6月 27日(金) 各事業所にお礼の手紙を発送する。
- 7月 2日(水) ポスターセッションでのまとめと発表会を事業所の種類ごとに行う。
- 7月 10日(水) 事業所の種類ごとに選ばれた班が体育館で発表会を行う。
- 10月 22日(水) 「郷土の偉人に学ぶ」をテーマに、市内の史跡めぐりの計画をする。
- 11月 12日(水) 市内史跡めぐりを実施する。
- 11月 17日(月) 市内史跡めぐりの成果を模造紙にまとめし、教室前に掲示する。



(5) 参考となる取組

- ① 各事業所への質問状を事業所訪問の日に持参し、あらかじめ担当の方に渡しておくことにより、体験学習日当日にその回答をいただいたり、質問事項に配慮した大会学習を行わせていただくことができた。
- ② 発表会をポスターセッション形式で行い、参加者が発表者に積極的に質問する様子が見られた。



3 成果と課題

(1) 成果

- ① 働くことの尊さ、難しさを知り、将来の職業選択に向けての意欲づけをすることができた。
- ② 電話のかけ方、言葉づかい、あいさつ、返事など、他者に接する際の社会的常識を身につけようと努力することができた。

(2) 課題

- ① 1事業所当たりの人数を4人以内に抑えようという意図が教師側にあったため、多くの受け入れ事業所が必要になり、依頼や確保が大変であった。
- ② 当日、体調不良で欠席したり、早退したりという生徒が若干おり、連絡や対応がやや混乱した。

見つけよう将来の夢、考えよう将来の職業

—一宮市立北部中学校—

1 学校及び地域の概要

本校は「せんい都市一宮」の玄関、尾張一宮駅の北東およそ2kmに位置している。学区には「尾張一宮」真清田神社周辺の商店街や織布関係ならびにこれに伴う小工場が分布していた。特に染色業はその歴史も古く、校歌にも歌われていて、中心的な産業の一つとなっていたが、現在は住宅地に変容してきている。

本校の教育目標である学力・体力・気力のある生徒の育成と「WE LOVE 北中」が体感できる学校を目指して、学校・家庭・地域が一体となって教育活動を実践している。

2 活動の紹介

(1) 実施日

平成20年8月5日(火)・6日(水)・8日(金)の3日間

(2) 参加生徒数

第2学年237名

(3) 受入先事業所数及び活動人数

事業の種類	事業所数	活動人数	事業の種類	事業所数	活動人数
農業			金融・保険業	1	12
林業			不動産業		
漁業			飲食店、宿泊業	7	82
鉱業			医療、福祉	3	19
建設業			教育、学習支援業	2	38
製造業			複合サービス事業		
光熱水事業			その他サービス業	4	37
情報通信業	2	8	公務	1	9
運輸業	2	21	分類不能の産業	1	11
卸売・小売業			計	23	237

(4) 活動日程と概要

① 6月10日(火) オリエンテーション全体指導

- ・ 職場体験学習のねらいについて
- ・ 職場体験での自分の目標と課題
- ・ 職場案内と希望選択について

② 6月16日(月)～20日(金) 職業調べ (パソコン室)

- ・ 体験する職業についての調べ学習
- ・ 身近な人の職業調べ

- ③ 7月15日（火）職業調べ ・質問事項の書き出し ・職場体験におけるマナーの習得
- ④ 7月16日（水）職場体験事前指導 ・集合場所、時間、服装の確認
- ⑤ 8月4日（月）最終事前指導
 - ・安全、緊急対応等に関する確認
 - ・社会性やマナーに関する確認
 - ・体験のまとめ方、事後学習の準備
- ⑥ 8月5日（火）、6日（水）、8日（金）職場体験学習
 - ・自己紹介、あいさつ
 - ・職場体験実施の注意事項の確認
 - ・職場見学施設等の説明
 - ・仕事内容の見学
 - ・職場体験実習
 - ・本日の反省とまとめ
- ⑦ 8月25日（月）職場体験レポート作成
 - ・職場体験の記録のまとめ
 - ・職場体験に対する評価（生徒の自己評価・事業所のアンケート及び評価）
 - ・礼状の作成
 - ・職場体験発表資料の作成
- ⑧ 8月26日（火）職場体験の礼状作成と体験のまとめ
- ⑨ 10月9日（木）職場体験 学級レポート発表会
- ⑩ 10月10日（金）職場体験 学年レポート発表会
- ⑪ 10月20日（月）～24日（金）上級学校調べ学習
- ⑫ 11月6日（木）上級学校調べ発表会
- ⑬ 2月23日（月）～27日（金）職場体験事業所訪問 まとめ資料の配布



< 笹屋体験学習 >

3 成果と課題

(1) 成果

- ・様々な体験と地域社会との交流を通して望ましい勤労観、職業観の育成につながった。
- ・働くことの意義や尊さを体験し、将来の進路選択に役立てることができた。
- ・自分の生き方について振り返り、これからの自分について考える場とすることができた。

(2) 課題

- ・職場体験学習の日時の検討と事業所の確保。
- ・中学校三年間の系統的なカリキュラムの作成。
- ・職場体験に向けての指導手順のマニュアル化。
- ・子どもたちが自ら進路に夢をもち、主体的に考える進路選択能力の育成。



< 下ヨタカローラ 体験学習 >

職 場 体 験 学 習

－ 人とのふれあいから共に生きる力を身につけよう －

瀬戸市立水無瀬中学校

1 学校及び地域の概要

本校は、昭和 22 年（1947）瀬戸市立第一中学校として開校（生徒数 788 名，学級数 16）し，昭和 24 年（1949），現在の校名である水無瀬中学校に校名を変更した。瀬戸市中心部の市街地に立地し，交通の便も良く商業地，住宅地として活気ある地域である。校区には，陶原小学校と長根小学校がある。近年は，市の隣接学校選択制により，近隣校区からの入学者も増えている。本年度は，生徒数 572 名，19 学級（特別支援学級 生徒数 24 名 4 学級を含む）でスタートした。

本校生徒は，「明るく 心豊かに たくましく」の学校教育目標のもと，学習ばかりでなく，ボランティア活動，生徒会活動，部活動に積極的に取り組み，多くの成果を上げている。

地域も本校の活動を温かく見守り，支援してもらっている。今年度は，PTA と生徒会の連携で清掃活動を行うなど，保護者，地域から協力を得て，充実した教育活動を展開している。

2 活動の紹介

(1) 実施日

平成 20 年 10 月 28 日（火曜）～ 10 月 30 日（木曜）の 3 日間

(2) 参加生徒数

第 2 学年 197 名

(3) 受け入れ先事業所数及び活動人数

事業の種類	事業所数	活動人数	事業の種類	事業所数	活動人数
農 業	0	0	金融・保険業	0	0
林 業	0	0	不動産業	0	0
漁 業	0	0	飲食店、宿泊業	1	2
鉱 業	0	0	医療、福祉	18	64
建設業	3	8	教育、学習支援業	6	27
製造業	5	10	複合サービス事業	3	4
光熱水事業	0	0	その他サービス業	9	27
情報通信業	1	3	公務	4	9
運輸業	1	2	分類不能の産業	0	0
卸売・小売業	11	41	計	62	197

(4) 活動日程と概要

[事前学習]

- 3 月 ・ 1 年生時 年度末に進路適性調査の実施
- 7 月 ・ 働くことの意味について考える

- 9月 ・ 職場体験学習職種希望調査及び体験先の決定
- 10月 ・ ビジネスマナー講座の実施
- ・ 職場体験場所の調べ学習及び訪問準備

[職場体験学習]

- 10月 ・ 各職場での体験学習

[事後指導]

- 11月 ・ 体験レポートの作成
- ・ お礼状作成



建築現場での作業体験

(5) 参考となる取組

市キャリア教育推進協議会の協力が得られ、事前学習、実際の体験、事後学習まで、本事業をスムーズに実施することができた。とりわけ、ビジネスマナー講座では、同協議会に講師派遣を依頼したところ、本校のニーズにあった講師を派遣してもらえた。また、同協会の職場体験受入リストを活用でき、以前よりスムーズに受入の依頼を行えた。

昨年度まで夏季休業中に実施していた体験活動を2学期半ばに設定した。一長一短あるが、今年度の2学期半ばの実施は、他の学校行事との関連や3年間の中学校生活を見通して折り返しの時期であることから、今までの中学校生活の反省と今後の目標を持たせる上でよい時期に実施できた。

3 成果と課題

(1) 成果

本校は、キャリア教育を総合的な学習の中心に位置づけ、1年生では、職業適性検査や身近な職業調べをし、自己理解を図り、働くことの意義について考えている。2年生では、「職場体験学習」を中心にした一連の活動で職業観を高めている。3年生では、コミュニケーション講座を実施し、人とかかわり方に目を向け、卒業後の進路についてはその後の職業人としての自覚を高めている。



製造業での実習体験

今回の「職場体験活動」は、3年間を見通したキャリア教育の中核をなす部分で、生徒たちは働くことの大変さや難しさばかりでなく楽しさや充実感を実感し、十分に職業観を高められた。そればかりでなく、自己を見つめなおし、自分らしく生きること、自分を生かすことについて考える契機となった。また、体験活動のレポートをまとめ、掲示することで、他の生徒の活動や考えを共有し、価値観を広げることができた。

(2) 課題

本年度は、昨年度以上に市キャリア教育推進協議会の協力が得られ、一連の活動を非常にスムーズに実施できた。また、市キャリア教育推進協議会より派遣された地域コーディネーターに週2回程度来校してもらい、キャリア教育関係の仕事に携わってもらっている。残念ながら本年度は職場体験活動が終了してからの派遣であったため、本活動に十分に参加してもらえなかった。

今後は、地域コーディネーターを学校と外部をつなぐ調整役、また、3年間を見通したキャリア教育の推進の牽引役になってもらうため、ソフト、ハードの面での環境整備が必要である。

よりよい生き方について考えよう

～職場体験学習を通して～

—半田市立半田中学校—

1 学校及び地域の概要

半田市は知多半島のほぼ中央に位置しており、知多半島の中核都市として産業がバランスよく発展してきた。食品、工業、鉄鋼、機械、自動車部品などの工業の他、駅前商店街など早くから広い商圈を築き、さらに、穏やかな気候が農業にも適し、積極的に事業活動が進められている。

本校は、4つの小学校区からなり、26学級、全校生徒数946人の大規模校である。「創造と調和」の校訓のもと、「たくましい心と体をもつ生徒」「真剣に学業に打ち込む生徒」「正しい判断と行いができる生徒」「礼儀正しく、お互いに助け合う生徒」の育成を目指している。

2 活動の紹介

(1)実施日

平成20年7月25日（金）～27日（日）の3日間（2人）
7月29日（火）～31日（木）の3日間（2人）
7月31日（木）～8月2日（土）の3日間（3人）
8月1日（金）～3日（日）の3日間（3人）
8月4日（月）～6日（水）の3日間（1人）
8月5日（火）～7日（木）の3日間（4人）
8月7日（木）～10日（日）のうちの3日間（5人）
8月11日（月）～13日（水）のうちの3日間（4人）
8月15日（金）～19日（火）のうちの3日間（3人）
8月20日（水）～30日（土）のうちの3日間（282人）

(2)参加生徒数

第2学年 309人

(3)受入先事業所数及び活動人数

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ①医療・福祉（15事業所 53人） | ②飲食店（15事業所 41人） |
| ③卸・小売り（35事業所 119人） | ④教育（1事業所 1人） |
| ⑤建設業（3事業所 3人） | ⑥公務（7事業所 19人） |
| ⑦情報通信業（2事業所 3人） | ⑧製造業（6事業所 16人） |
| ⑧サービス業（14事業所 51人） | |

(4)活動日程と概要

月	日	学 習
4	16	ガイダンス
4	23	職場インタビューカードの作成
5	2～9	職場インタビュー
5	28	講演会「職業人の話を聞く」(11業種)
6	18	講演会「働くとは」(杉本貞三氏) ワークショップ(共育ネットはんだ)
7	2	職場訪問
8	20～30	職場体験
9	10	事業所へのお礼の手紙作成
9	17～24	体験学習のまとめ
10	8	発表会



杉本貞三氏の講演

(5)参考となる取組

- ・以下に示す事前の学習を行わせ、実践につなげた。
 - ①家族や知り合いなどの身近な「働く人」へのインタビュー
 - ②職業人の話を聞く会(銀行員、農業経営、市役所職員、保育士、喫茶経営、沖縄民謡詩者、英語講師、介護士、キャリアカウンセラー、消防士、獣医師 など)
 - ③(株)加藤電気参与 杉本貞三氏による講演「働くとは」
 - ④共育ネットはんだ ワークショップ「名刺づくり・交換」



ワークショップ
「名刺作り・交換」

3 成果と課題

(1)成果

・3日間の体験を終えた生徒は、一様に働くことの大変さや充実感、働いている人々の仕事への情熱や生きがいを感じていた。さらに、自分のために働いてくれている親への感謝の念を強く持った生徒も少なくなかった。また、これまで抱いていたイメージとの違いを学んだ生徒も多かった。以下は事後に行ったアンケート「職場体験」を終えての感想の抜粋である。

- ・あいさつの大切さをあらためて感じた。 ・疲れた。親の大変さがわかった。
- ・将来なりたい職業について考えることができた。
- ・楽しかった。 ・時間を守ることの大切さがわかった。



職場体験
「銀行」

(2)課題

- ・これまで1日、2日受け入れていただいた事業所でも、3日間となると断られる所もある。今後、「3日間」受け入れていただける事業所の確保が必要である。

『生きる力』をはぐくむ学習指導・生徒指導の推進

—春日井市立東部中学校—

1 学校及び地域の概要

本校は、春日井市の中心部に近く、校区の西側には市役所や商店街があるが、東側には田畑が点在し、商業地区と住宅地が混在する地区である。商店街がある割には、保護者が自営業の生徒は少なく、自分の親が働く姿を見たことがない生徒がほとんどである。そのため、働くということについての実感が少ない生徒が多い。

2 活動の紹介

(1) 実施日

平成20年6月 3日(火)

平成20年6月10日(火)～6月11日(水)

(2) 参加生徒

第2学年209名

(3) 受入先事業所数及び活動人数

事業の種類	事業所数	活動人数	事業の種類	事業所数	活動人数
農業	0	0	金融・保険業	0	0
林業	0	0	不動産業	0	0
漁業	0	0	飲食店、宿泊業	3	30
鉱業	0	0	医療、福祉	3	17
建設業	0	0	教育、学習支援業	3	30
製造業	1	2	複合サービス事業	0	0
光熱水事業	1	4	その他サービス事業	0	0
情報通信業	1	2	公務	7	49
運輸業	1	5	分類不能の産業	0	0
卸売・小売業	15	65	計	35	204

(4) 活動日程と概要

- 4月 8日 学年集会(職場体験の概要説明)
- 4月16日 服装・言葉遣い・マナー指導
- 4月23日 職場体験希望調査の実施
- 5月 7日 職場体験希望事業所の決定
- 5月12日 各職場別の指導
- 5月21日 職場体験学習計画表の作成
- 6月 2日 事前訪問指導
- 6月 3日 職場体験事前訪問



- 6月 9日 直前指導
- 6月10日～11日 職場体験
- 6月16日 まとめのレポート作成
お礼の手紙作成
- 12月 9日 発表会役割分担
- 1月26日 発表会リハーサル
- 1月27日 職場体験学習発表会



(5) 参考となる取り組み

職場体験が始まって3年目を迎えた。生徒から要望もあり、今年は新しく春日井警察署にも依頼し、全35事業所で体験を行った。また、1月に「職場体験発表会」を行った。今回は、全事業所の代表者が集まり、同系統の事業所をサービス・介護・保育・商品管理・販売・制作・公共施設の7つの部門に分け、発表することにした。すべての職場での体験内容等を聞くことができ、自分が体験できなかった職場についても興味を持った生徒が多く見られた。さらに来年度、職場体験を実施する1年生にも発表会に参加させ、経験したことが次に生かせるようにした。まとめや発表会がより意義のあるものになった。

3 成果と課題

(1) 成果

- ・ 生徒にとっては、初めての職場体験であったので、緊張して取り組む生徒が多かった。働くことの大変さや楽しさを実感できた生徒が多くいた。この体験を通して、仕事について真剣に考える生徒も出てきた。
- ・ 職場体験発表会に1年生も参加し、来年度の職場体験に向けてのよい動機付けになった。また、発表した2年生にとっては、1学期に行った職場体験を振り返るとともに、発表の機会を持つことによって、「伝える」活動に取り組むことができた。
- ・ 保護者にとっても、我が子の初めての職場体験であったので、家族で体験について話し合った家庭も多くあった。子供の仕事についての考え方や、体験を通しての考え方の変化などを知ることが出来、有意義であったととらえる保護者が多かった。

(2) 課題

- ・ 体験できる職場の数や種類も限られているため、自分の希望する職場で体験できない生徒もでてしまう。そうした場合にも、意欲を持って取り組めるように、職場体験の意義やその取り組み方について十分な事前指導をしていきたい。
- ・ 多くの体験場所が、校区内またはその近隣の場所であるので、自転車をを使って移動する生徒が多かった。ヘルメットを着用して自転車に乗るように指導してきたが、安全面を考えるとできるだけ徒歩、または公共交通機関を利用した方がよいように思う。
- ・ キャリア教育が、職場体験だけに終わらず「人間学習」に近づけるように、年間指導計画やその内容を検討していきたい。